

土岐市泉こども園 自己評価票（令和7年度）

A：達成できた、B：ほぼ達成できた、C：一部改善を要する、D：改善を要する

1. 保育の理念・目標・計画・評価

内容	評価	コメント
①園の保育方針を理解している。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員が園の保育方針を理解し目標に向けての取り組みを共通理解し取り組めた。 ・発達に合わせた指導計画をたて、無理のない個に応じた保育に努めることができた。
②園の保育方針や目標に基づいて、クラスの年間保育目標を立てている。	A	
③担任間で話し合っ、保育目標を立てている。	A	
④各年齢の発達段階合わせた指導計画は、一人一人の発達にも留意している。	A	
⑤自らの保育を振り返り、向上や改善に努めている。	A	

2. 保育の内容

内容	評価	コメント
①保育や生活の中で「ねらい」や「内容」が達成されるよう配慮している。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・1人1人の思いを受け止め、思いに寄り添った保育に努め、園児が安心して過ごせる環境づくりを意識して保育にあたった。 ・全職員で全園児を見る意識をもって保育にあたったことで、担任以外の職員も園児を把握し多面的に園児の状態をみる事ができた。
②子ども一人一人の思いを受け止め、その思いをできるだけ実現させようと努めている。	A	
③子どもたちが日々過ごすための安全な環境や適切な衛生状態に努めている。	A	
④身体的、精神的、情緒的発育等、多面的に子どもの状態を把握している。	A	
⑤保育室の整理整頓に努め、いつも気持ちの良い保育室づくりを心がけている。	A	
⑥行事の計画や実施にあたっては、以前の反省や評価を反映している。	A	
⑦特定の子どもを特別扱いしていない。	A	

3. 園の組織・役割分担

内容	評価	コメント
①職場内で連携がとれている（連携をとるよう努めている）。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・朝のミーティングを取り入れたことで細かな連絡・報告が職員間で共有され、連携がより取れるようになった。 ・総括・主幹保育教諭が中心となり、より良い保育が行えるよう職員間で連携をとり、効率化を図ることができた。
②研修への参加や専門書により知識や技能の向上に取り組んでいる。	A	
③職員間で「ほうれんそう（報告・連絡・相談）」ができている。	A	
④職場の中で各職員が自分の役割を自覚している。	A	
⑤保育を良くしたり、業務の効率化を図ったりするような提案が出されている。	A	

内容	評価	コメント
⑥各職員が任せられている仕事は責任感を持ってこなしている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・任せられた仕事に対し責任をもって取り組んでいる。 ・職員会やミーティングなどで積極的に発言する人、苦手な人がいることを考慮し、話しやすい雰囲気づくりに努めていきたい。
⑦各職員が職員会などで必要と思う質問や意見を発言することができている。	B	
⑧研修で得た内容・成果は他の職員に伝達され、保育に生かされている。	A	

4. 家庭・地域社会

内容	評価	コメント
①保護者に対して、丁寧な言葉遣いと気持ちの良い対応を心がけている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者が安心して預けられるよう園での様子をできる限り伝えるよう努力をしている。 ・外部評価委員や小学校とも連携を図っているが、一部の職員に限られてしまうため情報共有をしっかりと図れるように努めたい。
②送迎時等に子どもの姿を保護者に伝えている。	A	
③保護者に子どもの伸びているところや課題を伝えるなど連携をとっている。	A	
④家庭との連携を図るように努めている。	A	
⑤家庭環境及び食事習慣等園以外での子どもの状態を把握している。	A	
⑥地域や保護者の意見を保育等に反映している。	A	
⑦他園や関係機関との連携を図り、有効な対応に努めている。	A	
⑧保護者により対応を変えていない。	A	

5. 事務管理・運用

内容	評価	コメント
①個人記録簿は、適切に記載し、整理保管できている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・重要書類の取り扱い方法を明確にし、全職員が適切に管理する重要性をよりも意識するようになった。
②園内で知りえた事柄に対して守秘義務は徹底できている。	A	
③金銭等を取り扱う場合、適正かつ適切に処理できている。	A	

6. 総評

・職員同士協力しながら、よりよい保育に向けて取り組むことができた。職員も子どもと一緒に楽しむことで子どもが今何を求めているのか何に興味を持っているのか感じることができ、遊びが深まったように感じる。今年度もミーティングに力を入れ、情報の共有や子どもを多角的に見ながら保育を進めることができた。積極的に意見を出す職員もいれば消極的な職員もいるので、活発に意見を出し合いより充実したミーティングなるよう工夫していきたい。

・医療的ケア児に対し、関係機関と連携し保育の見直しや職員の育成に力を入れたことで、昨年度より細かな支援や指導を行うことができ、園児も職員も大きな成長をすることができた。

・園の保護者駐車場の数が限られているため、登降園時にゆっくり保護者と話をすることが難しい。保護者に園での様子が伝わる方法を検討し安心して園に預け、園での様子や活動を親子で共有できる工夫をしていきたい。